

住宅防水気密用粘着テープ

# ハイパーフラッシュ NO.6951

## 概要

ハイパーフラッシュ NO. 6951 は、変形し易い支持体(ゴムシート基材)にブチルゴム系粘着剤を積層した防水気密用粘着テープです。

住宅の開口部廻り、出隅部などの異型部などに、三次元的に施工できる現場万能型の防水気密用粘着テープです。

支持体(ゴムシート基材)の片面にブチルゴム系粘着剤を積層していますので、粘着特性、防水気密性、耐久性にすぐれています。

## 構成

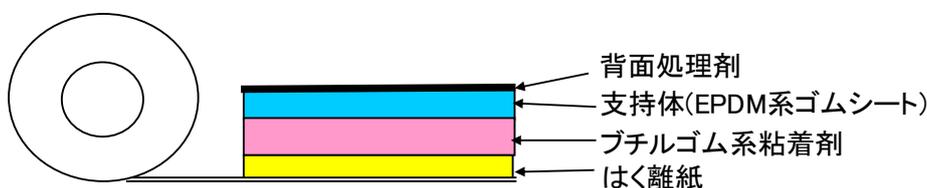


図 1. ハイパーフラッシュ NO. 6951

## 用途

- パイプ廻り部、手摺部、窓廻りなど、下地の三次元部分の防水気密。
- 下地材目地の防水気密。

## 特長

- 三次元的な出隅、入隅部に補助材を用いることなく一体的に施工できますので、防水気密の信頼性が向上します。
- 粘着特性が高く、防水気密性にすぐれています。
- 長期の耐久性にすぐれています。

## 標準サイズ

表 1. 標準サイズ

項目 品名	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (m)	入数(巻/ケース)
全天テープ NO. 6951	1.3	45	5	12
		75		8
		200		4

(注) 上記サイズ品は背割りはく離紙タイプもあります。

管理番号: HOU-012-J-5      2014/04/28      1/3

ご注意: 本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものではありません。ご利用いただく前に、被着体(テープに貼り合わせる材料)との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。

## 特 性

### ●代表特性

表 2. 代表特性

項目	単位	測定値	測定条件	試験方法	
厚さ	mm	1.3	温度：標準状態	JIS Z 0237:2000	
引張強さ (長さ方向)	N/25mm	8	温度：標準状態		
伸び (長さ方向)	%	1100			
100%モジュラス (長さ方向)	N/25mm	4	引張速度： 300mm/min		
5分保持後100%モジュラス(長さ方向)	N/25mm	1.3			
180度 引きはがし 粘着力	ステンレス板	N/25mm			9
	針葉樹合板	N/25mm			13
	透湿防水シート	N/25mm	12		

注) 標準状態：23±2℃、50±5%RH;透湿防水シート：熱圧着タイプ型

### ●粘着特性

粘着テープを伸ばさない状態にして、各温度における180度引きはがし粘着力を示します。

- ・測定条件：引剥がし速度 300mm/min
- ・測定方法：測定温度に2時間放置後に2kgローラーで1往復して圧着し、圧着30分後に測定。
- ・試験方法：JIS Z 0237：2000

表 3. 各温度における180度引きはがし粘着力

被着体	単位	測定温度		
		0℃	23℃	40℃
ステンレス板	N/25mm	32	9	6
針葉樹合板		10	13	6
透湿防水シート		22	12	6

透湿防水シート：熱圧着タイプ型

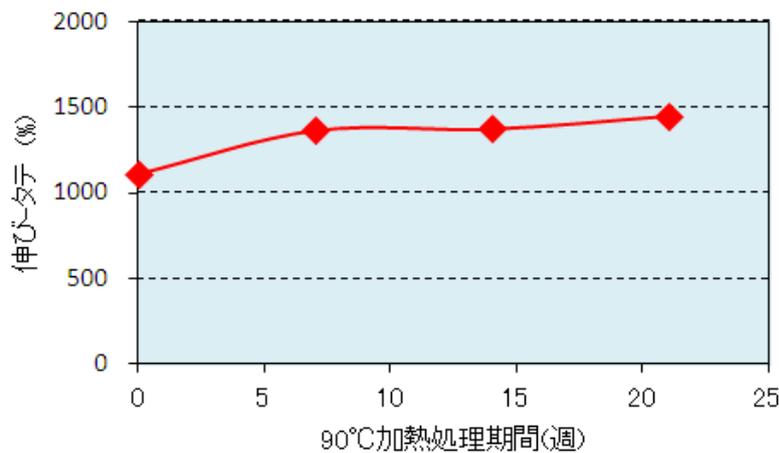
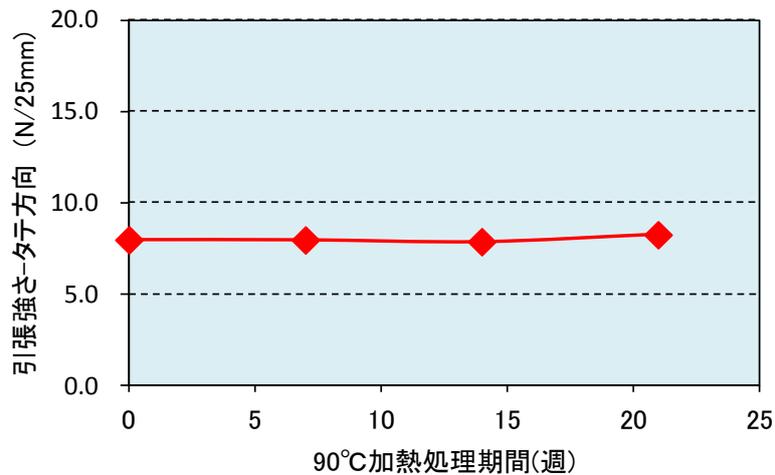
### ●耐久性試験

試験試料を90℃のオープンにて加熱処理した後、23℃(標準状態)の室内にて長さ方向の引張強さ、伸びを示します。

- ・測定項目：引張強さ、伸び
- ・加熱処理条件：90℃×7週(10年相当の促進加熱条件)  
90℃×14週(20年相当の促進加熱条件)  
90℃×21週(30年相当の促進加熱条件)
- ・試験方法：JIS A 6930

管理番号. HOU-012-J-5 2014/04/28 2/3

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体(テープに貼り合わせる材料)との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。



## 注意事項

- 施工箇所は面材下地があり、テープが圧着できる事を確認してください。
- NO. 6951 は下地にフィットしやすくする為にテープが変形しやすく設計されています。変形させる場合の伸び率は2倍以内でご使用ください。
- 貼り付け前には被着面の確認をし、凹凸面、下地段差はできるだけ平滑にしてください。次に、被着面の塵、埃、水分（結露など）、油分を清掃して下さい。
- テープは水下から貼り始め、重ね部が水みちにならないようにして下さい。
- 透湿防水シートは面材下地に、タッカー等で動かないように固定してください。
- テープは全面を充分圧着して仕上げてください。
- 冬場低温時は粘着テープを暖めると、接着がよくなります。
- はく離紙の上に乗りますと滑る恐れがありますので、はく離紙の上には乗らないようにして下さい。
- 粘着テープは直射日光の当たらない室内に、ポール芯の円形が天を向くように置いて下さい。

● お問い合わせは・・・テクニカルサポートセンター工業材料グループ T-FOX  
 E-mail : tfox@nitto.co.jp TEL : 0532-41-7838 FAX:0532-41-8446  
 管理番号: HOU-012-J-5 2014/04/28 3/3

ご注意：本データは、測定値の一例であり保証値ではありません。また、本書記載の用途への適合性を保証するものでもありません。ご利用いただく前に、被着体（テープに貼り合せる材料）との適合性をご確認の上、ご利用検討をお願いいたします。尚この文書に含まれる不明な点は、この文書末尾に記載の窓口にお問い合わせください。